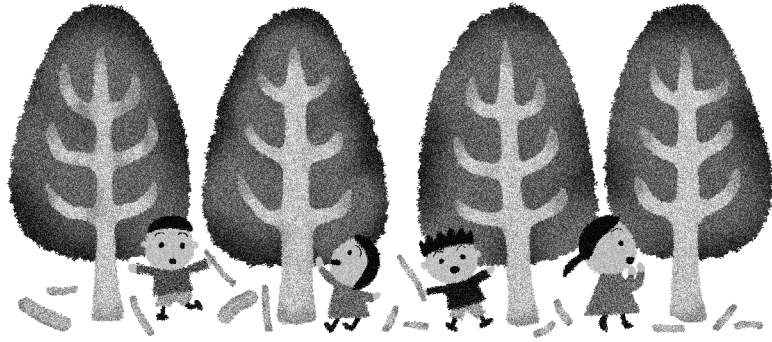


緑のトラスト 小千代山取得

3702㎡ 3851万円で購入



- ◎国道 254 号バイパス農協産直所の後ろの山が、やっと購入できました。
- この山に接する水路で夏の一時期、蛍をみることができます。
- ◎もうもう少年団が以前から手入れをされていてきれいになっています。
- 時々、嵐山町外の子どもや中学生も手入れに来ています。
- ◎町の緑を守るために大切です。
- 大人だけでなく、幼稚園・保育園・小中学校、10代の人、里山の手入れ（間伐・植樹・草刈）をして、多くの人で里山を大切にしたいですね。

お知らせ

2月12日(火) PM 7:00 より
財政の勉強会
場所 中島さん宅

(菅谷・旧国道 254 号沿い)

嵐山町・小川町・ときがわ町・鳩山町など、近隣の町と比較しながら、嵐山町の財政を考える手法で考えてみたいと予定しています。参加される方、ご連絡ください。◆まちづくり勉強会も開催します。企画してくださる方募集中。



■議会人事のあり方、疑問です。選挙後の議会人事で藤野幹男議員を監査委員に選出。町職員にお子さんがいます。監査委員には倫理的に不相当と反対。

お詫びします。訂正・前号の通信の議員活動表で、H19年9月議会一般質問の柳勝次さんを☆、吉場道雄さんの☆を空欄に。

嵐山町の公共事業は、国土交通省のまちづくり交付金を活用して、6年間で2つの地区を整備します。

- 中央区まちづくり計画 (h19~23、平沢土地区画整理組合に10億円と駅西側整備・公民館の改修など)
- 北部地区まちづくり計画 (h20~24、役場庁舎の敷地に学校給食センター・防災倉庫建設、公園・道路整備)
- まちづくり交付金は、国の道路特定財源(自動車重量税・ガソリン税など)からです。
- 道路特定財源を一般財源にして、国の条件に縛られず必要性の高い事業のみを優先的に行うほうが財政面、安心安全面で効果的です。が、国の制度を利用せざるをえないので、国の条件にあわない事業は後回し、条件に合う事業を併せます。2つのまちづくり交付金事業は、菅谷地区の要望である駅西側の整備、広野2区の皆さんが整備されている山のトラスト、学校給食センターの建設など課題解決も行われます。町の必要事業も、経費確保の有利性・事業の優先性が比較されます。
- 緑の保全・人と人が出会える空間の創出など賛成できます。……地球の将来を考えると、道路整備やまちづくりも、地球温暖化対策・環境を優先して、計画を創り進めてほしいのです！
- 深刻な国の財政危機、自治体は超高齢化社会の準備・少子化時代の子育ての費用も間に合わせなくては。

中央区まちづくり交付金事業 H19年3月の計画より		北部地区まちづくり交付金事業 H19年12月の計画より	
平沢土地区画整理組合	10億円 (+組合負担1億8700万)	学校給食センター建設	2億3900万円 (h20)
公民館改修・防火水槽	1億7300万 (h21~23)	防災備蓄倉庫・避難所	9000万円 (h21)
埼信信号~菅小の空間	2億5300万 (h20~23)	金皿山里山公園整備	トラスト・1500万円(h21)、
道路新設(駅から再開予定の踏切まで)	2億9100万	広野2区親水公園	3000万(h22)
歩道整備(東原公園含む)	2億9800万 (h19~23)	道路整備 (9本)	4億9600万 ((h20~24)
総予算額	20億1500万円 (国補助金8億600万円)	総予算額	8億7千万円 (国補助金3億4800万円)

12月議会一般質問より (9項目質問しました。一部をご紹介します。)

駅西側整備への提案

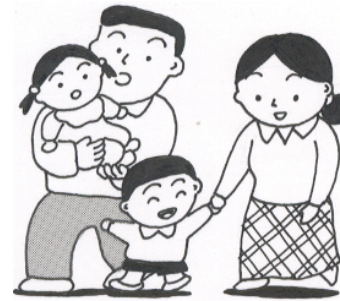
駅西の埼信を挟む道路は

- 歩道整備ではなく、広場として、有効に整備してほしいと思います。
- シルバー人材センターの駐車場になっている土地 (寄付して頂いた土地) と菅谷小に通じる道路の隣接地を土地交換していただくと、幅11m、長さ110mの空間が道路に面して出現です。
- 植樹して、子どもや高齢の方も歩いて人と出会える空間になります。
- 毎月1回日曜日に開かれる朝市も、回数を増やし、週1回くらいになると遠くの大店舗まで行かなくても、生鮮食品は購入できるようになります。駅西商店街は、お店が集まってマーケットにするには・経費面で難しいと聞きます。週1度程度のワゴンによる市場が開催されるとりあえずの問題解決になります。

アイプラザは、4月から朝8時から夕方6時まで、

- 喫茶経営が行われます。障害のある方の働く場になります。
- 7年前、アイプラザオープン時、その提案もしました。

駅に喫茶コーナー、人が出会える空間は貴重ですね。



こどもの心のケアハウス開所

国立女性教育会館宿舎跡地に情緒障害児短期療育施設がオープンしました。



●国道 254 号バイパスからは木立で見えないのですが、女性教育会館と道路をはさんで、向かいのベージュの建物です。歩道橋のあたりから入っていくと、玄関が見えます。

◆4月から、地域子ども支援センターも開かれます。地域に24時間の子育ての相談センターができます。児童相談所は敷居が高くってという方や、どこに相談したらいいかわからないという方に気軽に相談できる場になるといいですね。

雰囲気も明るく、子育て中の方に活用しやすい施設だと思います。

◆民間施設ですが、県立東松山養護学分校併設です (県の学校施設まで民間が建設です?)。4月に開校です。18歳までの子が対象で入所する子は定員50人です。北尾吉孝さんが社会福祉法人「慈徳院」をつくって経営されます。

◆体育館があります。体育館は地域に開放されるということです。地域と協力関係ができるといいですね。私も協力関係ができるように何かしたいと考えています。